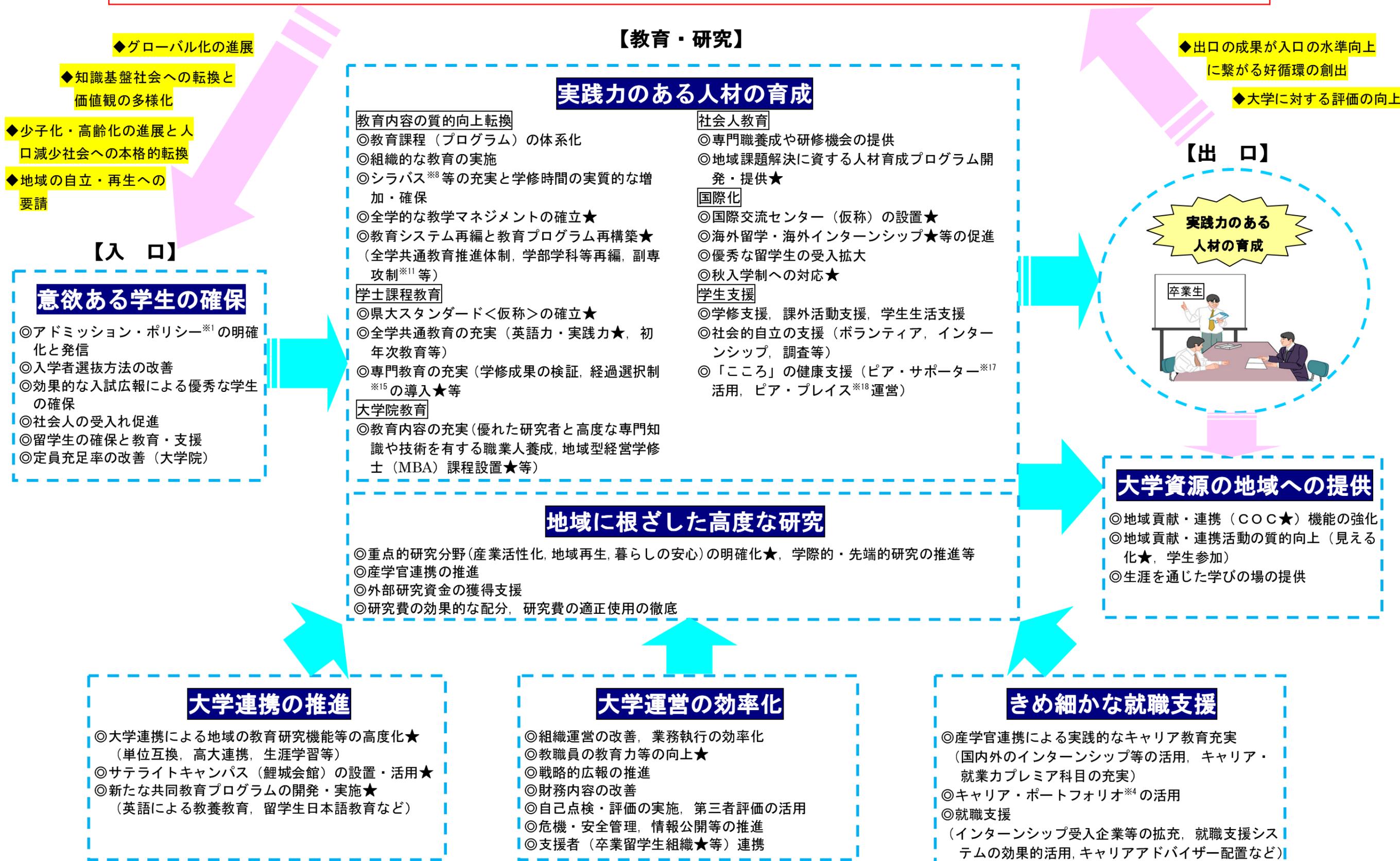


●基本理念「地域に根ざした、県民から信頼される大学」
 ●中期目標「グローバル化が進む社会経済環境の中で、企業や地域社会において活躍できる実践力のある人材を育成し、地域再生・活性化の核となる大学を目指す」

★…新たな取組



【用語説明】

※	語句	説明
1	学位授与方針等3つの方針	ULR:http://www.pu-hiroshima.ac.jp/01_hongaku/07_disclosure/index.html
2	ピア・レビュー	教員同士が互いの授業を公開し合い、授業内容や方法について検討し合うこと。
3	FD (ファカルティ・ディベロップメント)	教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称。大学設置基準等においては、こうした意味でのFDの実施を各大学に求めている。
4	キャリア・ポートフォリオ	学生が、自らのキャリア形成について、自分自身で考え、ふり返り、充実した大学生活をデザインしていくことを支援するために、大学での学びや課外活動で身に付けた力を可視化するシステム。目標設定とふり返りに係る活用(記述・更新等)が随時できる。
5	GPA制度	授業科目ごとの成績評価を5段階(A+・A・B・C・D)で評価し、それぞれに対して4・3・2・1・0のグレード・ポイントを付与し、この単位当たり平均を出す、学生の成績評価方法の一種。
6	CAP制	単位の過剰登録を防ぐため、1年間あるいは1学期間に履修登録できる単位の上限を設ける制度。大学設置基準上の1単位の学修時間(予習・復習等を含めて45時間)を確保し、単位の実質化を図る取組。
7	GPC	教員が学生に対して行った成績評価の授業科目(又はクラス)ごとの平均を算出したもの。GPAは学生個人の学修成果の指標であり、GPCは教員の教育活動の指標となる。
8	シラバス	各授業科目の詳細な授業計画。授業内容の概要を総覧するコースカタログとは異なり、各回の授業内容、準備学修等についての具体的な指示、到達目標、成績評価の方法・基準、参考文献などを含む。
9	汎用的能力	各専攻分野を通じて培う学士課程共通の「学修成果」の要素。知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能で、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力など。
10	全学支援方式	本学の学部・センターに所属する全ての教員が全学共通教育の運営を支援する体制。
11	副専攻	基本的には、主専攻分野以外の分野の授業科目を体系的に履修させる取組であって、規程の整備等により組織的に行われているものをいう。
12	定員充足率	在籍者数/入学定員×100
13	eラーニングシステム	インターネットやイントラネットなどを利用した教育・学修システム。
14	アクティブ・ラーニング	教員が一方的に学生に知識伝達をする講義スタイルではなく、課題研究やディスカッション、プレゼンテーションなど、学生の能動的な学修を取り込んだ授業の総称。
15	経過選択制	募集単位を大きくくり化(例えば、学部単位)し、学生が大学入学後に幅広い分野の大学教育に触れながら自らの適性や関心等に基づき、2年次又は3年次に専攻分野を決めることができる制度。
16	学外実習・学外実践等科目	インターンシップ、ボランティア活動、臨地実習、教育実習、博物館実習を含む。学科が科目指定。
17	ピア・サポーター	学生同士の相談活動や修学支援等のピア・サポート活動を行う、あらかじめ研修を受けた学生。
18	ピア・プレイス	心理的不適応等の諸問題を抱えた学生などが、学内で安心して過ごせる場。
19	一般社団法人教育ネットワーク中国	広島県内外の大学・短期大学・高等専門学校・教育委員会等によるコンソーシアム(正会員数:36)。
20	SD (スタッフ・ディベロップメント)	職員を対象に、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質を向上させるための組織的な取組の総称。
21	目標管理評価制度	期初に設定した目標を基に自己の業務を遂行し、期末にその達成度合を評価する制度。
22	ラーニングコモンズ	自律的な学修を支援し、知識の創造を促す、図書館の新しい学修空間。

【数値目標】

部局	項目	達成目標	
人間文化学部	入学者に対する標準修業年限での卒業者の割合	90%以上(各年度)	
	同年限+1年での卒業者の割合	95%以上(各年度)	
	(健康科学科)	管理栄養士国家試験の合格率	95%以上(各年度)
	(国際文化学科)	卒業時までTOEIC700点以上到達者の割合	30%以上(平成28年度)
	(国際文化学科)	卒業時まで中国語検定2級レベル以上到達者の割合	10%以上(平成30年度)
		退学者の割合(退学者数/在籍学生数×100)	3%以下(各年度)
		学外実習・学外実践等科目履修率	95%以上(平成30年度)
経営情報学部	入学者に対する標準修業年限での卒業者の割合	90%以上(各年度)	
	同年限+1年での卒業者の割合	95%以上(各年度)	
	退学者の割合(退学者数/在籍学生数×100)	3%以下(各年度)	
	学外実習・学外実践等科目履修率	95%以上(平成30年度)	
	就職支援に対する卒業時の満足度	90%以上(各年度)	
生命環境学部	入学者に対する標準修業年限での卒業者の割合	90%以上(各年度)	
	同年限+1年での卒業者の割合	95%以上(各年度)	
	退学者の割合(退学者数/在籍学生数×100)	3%以下(各年度)	
	学外実習・学外実践等科目履修率	95%以上(平成30年度)	
	就職支援に対する卒業時の満足度	90%以上(各年度)	
保健福祉学部	入学者に対する標準修業年限での卒業者の割合	90%以上(各年度)	
	同年限+1年での卒業者の割合	95%以上(各年度)	
	(看護学科)	看護師・保健師の各国家試験の合格率	95%以上(各年度)
	(理学療法学科)	理学療法士の各国家試験の合格率	
	(作業療法学科)	作業療法士の各国家試験の合格率	
	(コミュニケーション障害学科)	言語聴覚士国家試験の合格率	
	(人間福祉学科)	精神保健福祉士国家試験の合格率	90%以上(各年度)
	(人間福祉学科)	社会福祉士国家試験の合格率	
		退学者の割合(退学者数/在籍学生数×100)	3%以下(各年度)
		学外実習・学外実践等科目履修率	95%以上(平成30年度)
	就職支援に対する卒業時の満足度	90%以上(各年度)	
助産学専攻科	入学者に対する標準修業年限での卒業者の割合	90%以上(各年度)	
	同年限+1年での卒業者の割合	95%以上(各年度)	
	助産師国家試験の合格率	100%(各年度)	
	退学者の割合(退学者数/在籍学生数×100)	3%以下(各年度)	
	学外実習・学外実践等科目履修率	95%以上(平成30年度)	
総合学術研究科	入学者に対する標準修業年限での卒業者の割合	90%以上(各年度)	
	同年限+1年での卒業者の割合	95%以上(各年度)	
	研究科全体の定員充足率	90%以上(各年度)	
	退学者の割合(退学者数/在籍学生数×100)	3%以下(各年度)	
総合教育センター	2年次修了時までTOEIC450点以上の到達者の割合	90%以上(平成30年度)	
学術情報センター			
地域連携センター	公開講座受講者の満足度	80%以上(平成30年度)	
	外部資金の年間獲得総額	2億円以上(各年度)	
国際交流室	留学生受入数	120人(平成30年度)	
	海外留学派遣学生数	130人(平成30年度)	
	海外協定・提携校数	24校(平成30年度)	
経営企画室	科学研究費補助金の申請割合(応募数/教員数)	100%以上(平成30年度)	
	科学研究費補助金の獲得件数	80件以上(各年度)	
	外部資金の年間獲得総額	2億円以上(各年度)	